

# Urban Data Challenge Tokyo 2013



平成25年11月16日(土) 10:30~13:00

日本科学未来館 イノベーションホール

## 地域の課題を解決するためのアイデアを考えよう！

～アーバンデータチャレンジ東京2013 × Linked Open Data Challenge Japan～

### 4<sup>th</sup> ステージグループワーク 実施結果



LOD Challenge2013



# 実施概要

- 日時：2013年11月16日（土）10:30～13:00
- 参加者：約60名
  - 一般：約40名（学9名、行政7名、民24名）
  - ファシリテータ（学1名、民間7名） ※実行委員2名含む
  - 実行委員・東大：約12名



# 実施結果

- 8つのテーマに対して、ファシリテータからのアイデアの種を基に、アイデアの深堀、使えそうなデータ、アプリ等について議論ができました
- 当日の配布資料およびグループワーク結果をCSISのイベントページ (<http://i.csis.u-tokyo.ac.jp/event/20131116/>) に掲載
  - 【Ⅰ.「アーバンデータチャレンジ東京2013」及び「LOD Challenge2013」の取り組み概要】
    - 開会挨拶および「アーバンデータチャレンジ東京2013」概要説明  
東京大学生産技術研究所准教授 関本義秀
    - 「LOD Challenge2013」概要説明  
Linked Open DataチャレンジJapan 2013 事務局長 乙守信行
  - 【Ⅱ. 地域の課題を解決するためのアイデアの議論】
    - ディスカッションの進め方についての説明
    - アーバンデータチャレンジ東京2013 事務局
    - アイデアの種や課題を発表(3分×発表者8名)
    - グループワーク(アイデア出し+取りまとめ)
  - 【Ⅲ. アイデアの共有】
    - グループワークの結果共有 (3分×8グループ)
    - 今後の予定・閉会挨拶

## ＜アイデアに関する話題提供者＞

### 【アーバンデータチャレンジ東京2013】

- ①日本マルチメディア・エクイップメント株式会社 代表取締役 高田守康様  
テーマ:(防災)都市防災! 全員参加で盛り上がり(≧▽≦)
- ②日本システムウエア株式会社 プロダクトソリューション事業本部、  
プラットフォームソリューション事業部 味香 聡様  
テーマ:(防犯)データを使った街の防犯を考える
- ③公益財団法人日本測量調査技術協会 GISセンター 主任研究員 藤本 直也様  
テーマ:(農業)みんなが求める農村とは? ~悩むムラ、課題解決に必要なマップ~
- ④国際航業株式会社 東日本事業本部 事業推進部 事業企画グループ 和田 陽一様  
テーマ:(観光)富士山をテーマとしたOD活用アイデアで静岡を盛り上げたい

### 【Linked Open Data Challenge Japan】

- ⑤Linked Open DataチャレンジJapan 2013 事務局長 乙守 信行様  
テーマ:スポーツとオープンデータ  
<http://idea.linkdata.org/user/NobuyukiOtomori>
- ⑥大阪大学産業科学研究所 産業科学ナノテクノロジーセンター 准教授  
Linked Open DataチャレンジJapan 2013 関西支部長 古崎 晃司様  
テーマ:メイド・イン「地元」  
<http://idea.linkdata.org/idea/idea1s91i>
- ⑦独立行政法人理化学研究所 下山 紗代子様  
テーマ:気象観測データ×健康管理アプリで気象病のメカニズムを探る  
<http://idea.linkdata.org/idea/idea1s2i>
- ⑧Linked Open DataチャレンジJapan 2013 実行委員 高橋 陽一様  
テーマ:統計データから見る地域別健康環境 ~予防医療につなげるための可視化~  
<http://idea.linkdata.org/idea/idea1s39i>

(参考)



LOD Challenge2013



# 地域の課題を解決するためのアイデアを考えよう！

～アーバンデータチャレンジ東京2013 × Linked Open Data Challenge Japan～  
**4<sup>th</sup>ステージグループワーク結果**

2013年11月16日

日本科学未来館 イノベーションホール

A banner for the Urban Data Challenge Tokyo 2013. It features a grayscale cityscape of Tokyo with several large, semi-transparent arrows overlaid: a blue arrow pointing right at the top left, a yellow arrow pointing left at the top right, a yellow arrow pointing right at the bottom left, and a yellow arrow pointing left at the bottom right. A pink horizontal bar is also present in the middle.

# Urban Data Challenge Tokyo 2013

## 1.防災

都市防災！全員参加で盛り上がろう(≧▽≦)

# ディスカッションの結論

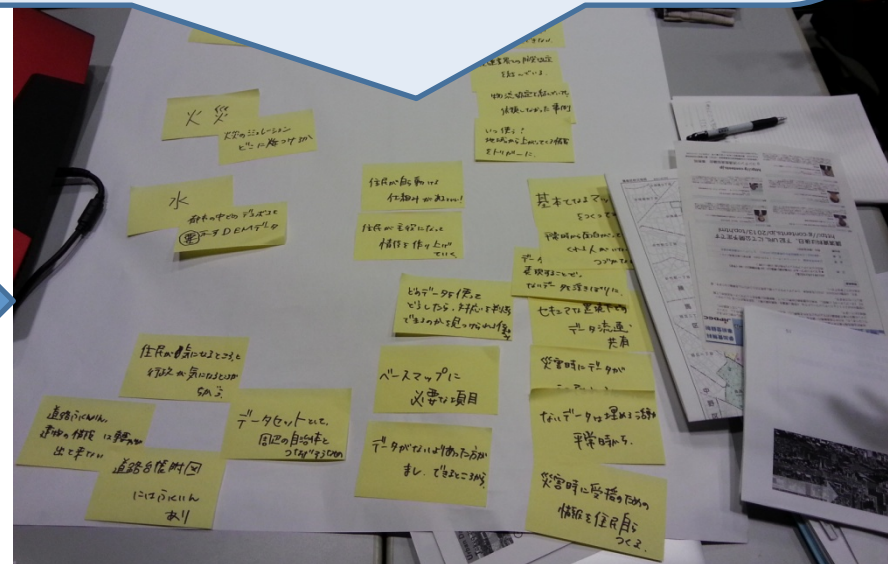
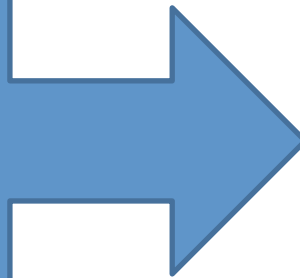


防災に必要なベースマップをつくろう！

- 見て楽しい・ゲーム感覚が欲しいよね
- ちょっとぐらい間違ってもいいじゃないか
- お祭り騒ぎでやってこうよ
- ワイワイ騒げる雰囲気づくりが必要だよね

## <<参加者>>

- 高田 守康
- 小島 功
- 畑山 満則
- 田中 直樹
- 高梨 勝敏
- 伊藤 顕子
- 山本 尉太



## 参加者の興味

- 大規模な防災、都市での防災に興味
- 地理空間情報を活用した防災に興味
- 津波シミュレーション、GPS波浪等の技術をアプリケーションに組み込みみたい
- GIS・ITを災害時にもっと活かしたい





## 意識合わせ

- 現実の世界(実空間)では、理想と現実が違う
  - 法律は大切だが、...
  - 具体的な活動には、住民・従事者が主役になるべき
  - G空間の上で具体的な議論をしよう
- まずは、豊島区をターゲットに議論しよう
  - ところで、何故豊島区？
    - 人口集中度が高い
    - 木造建築物が多い
- これらを対策に向けて
  - ベースマップの組み直しが必要では？

# 具体テーマでのアイデア・ディスカッション 1

- **水(河川)**
  - DEMデータとハザードマップの重ね合わせで、水の流  
が分かるのではないか？
  - これが分かると、一部の地域の浸水状況がわかれば、  
それ以外の浸水状況を予測することができる
- **火(火災)**
  - 発火点が分かれば、精度の高いシミュレーションができ  
るが、・・・発火点が分からないことが課題
  - でも、3軒隣りの家から火がでると・・・自分の自宅にど  
のような影響があるか？については、皆が興味を持つ
- **地域防災**
  - 瓦礫処理、瓦礫置き場のシミュレーションが不足している
  - 地域防災計画でも廃棄物処理まで考慮していない
  - 物流協定(地域協定)が活用できていない？いつ使  
うの？どの程度で使うの？

## 具体テーマでのアイデア・ディスカッション 2

### • 防災対策

- 判断は、地域・国民・市民が行う、行なえる
- 重要なのは、その判断ができるような情報を提供できることではないか
- 例：天気予報はあるけど、傘をもっていくかどうか？は個人の判断
- 心ある人が、お祭り騒ぎのように情報をどんどん寄せることで、様々な分析・解析ができるようになる・・・はず

## データを使って何ができるか？ 1

- データを活用するためには、
  - たくさんデータがあるが・・・使い方が分からない
  - 何を使うと、何ができるのか？が分からない
  - その一歩が、データカタログかもしれない・・・
- 適切なベースマップ
  - 目的別に道具・やり方がある、目的に応じて精度や縮尺はバラバラであってよい
  - でも、均質であって欲しい
  - それでも、データがないよりは、あった方がよい
  - 2次元情報から3次元情報→地図では表現できないことも多い

## データを使って何ができるか？ 2

- 防災の観点から欲しい情報項目
  - 道路幅員が欲しい
  - 建物構造が欲しい：新耐震か旧耐震
- 欲しい情報の単位
  - 個別単位ではなくてもよい、分布・街区単位の集約・統計情報であっても流通すると価値がある
- 誰か持っていないか？
  - でも、行政では持っている情報ばかり……プライバシー・個人情報ハードルでなかなか流通しない
  - 利用効果・活用効果とセットで住民の理解を得れば……



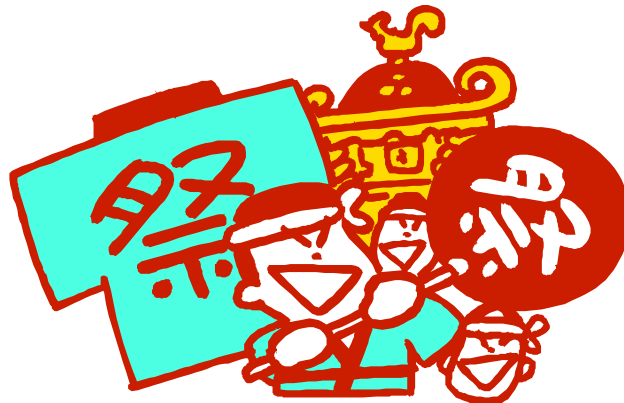
## データを使って何ができるか？ 3

- SNS情報
  - 都市型では、コミュニティが作りづらい
  - SNSつながりの新しいコミュニティがあってもよいのではないか？
  - 地域コミュニティの新しい作り方
  - まずは、“つぶやこう”



## 取りまとめの方向性

- 散在する様々な情報があるが使えない現状から脱却するために
- **セキュリティポリシーを決めた中で、使える環境を構築し、**
- **見える化して、行政・自治体・業界がチャレンジする**
  - 可視化・地図化することで、はじめてわかることもある
- **集めて、無いなら、作ってしまう！**
  - カタログと現実世界があれば不足情報・データがわかる
- **上記をゲーム感覚・お祭り感覚で、楽しみながらできることが大切**



A banner for the Urban Data Challenge Tokyo 2013. It features a grayscale cityscape of Tokyo with several large, semi-transparent arrows overlaid: a blue arrow pointing right at the top left, a yellow arrow pointing left at the top right, a yellow arrow pointing right at the bottom left, and a yellow arrow pointing left at the bottom right. A pink horizontal bar is also present in the middle.

# Urban Data Challenge Tokyo 2013

## 2.防犯

データを使った街の防犯を考える



グループ名: データを使った街の防犯を考える

データ

防犯対策  
の効果が  
分かる

予算削減の方向には  
なす  
市民が不安をかかす  
逆に増やす

犯罪抑制に効果  
を上げた市民の安心感  
→ 経済活性化に  
換算できるか?

今あるデータの課題点  
- 何のデータが有効か? どの  
データが有効か? 仕組み

ファシリテータ: 味香  
進行支援: 濱里  
記録: 片柳  
参加者: 橋本(研究機関)、  
杉本(民間)、玉置(行政)

課題

センシティブな情報は  
地域の人に出してもいい  
が、  
差別的な情報は行政で  
管理(化)すべき

防犯は警察  
という意識  
警察は情報を出せる

情報を土壌として  
逆に犯罪を抑制する  
犯罪の種類によって  
オープンデータの必要性  
がある

行政情報は信憑性  
が内々、  
職員個人のものを  
どうするか  
オープンデータのモデル

行政が出していい  
データは、住民が  
情報をつまみ食い

事件情報の評価  
は、被害者のほかに  
抑の可能性がある  
出せる

目的がくわくとして  
その事件を解決

データ

センシティブな  
住居地帯の情報  
で補充  
でも、有料だよ

コンビニ  
明し  
カメラあり

空き家、空地情報  
固定資産台帳と  
住民基本台帳を  
紐づけ(結合)  
が個人情報  
なので、IT技術で  
公開してあげよう  
→ 市民も使おう

属性、目的により  
判断する  
オープンデータに  
アクセス可否の  
判断

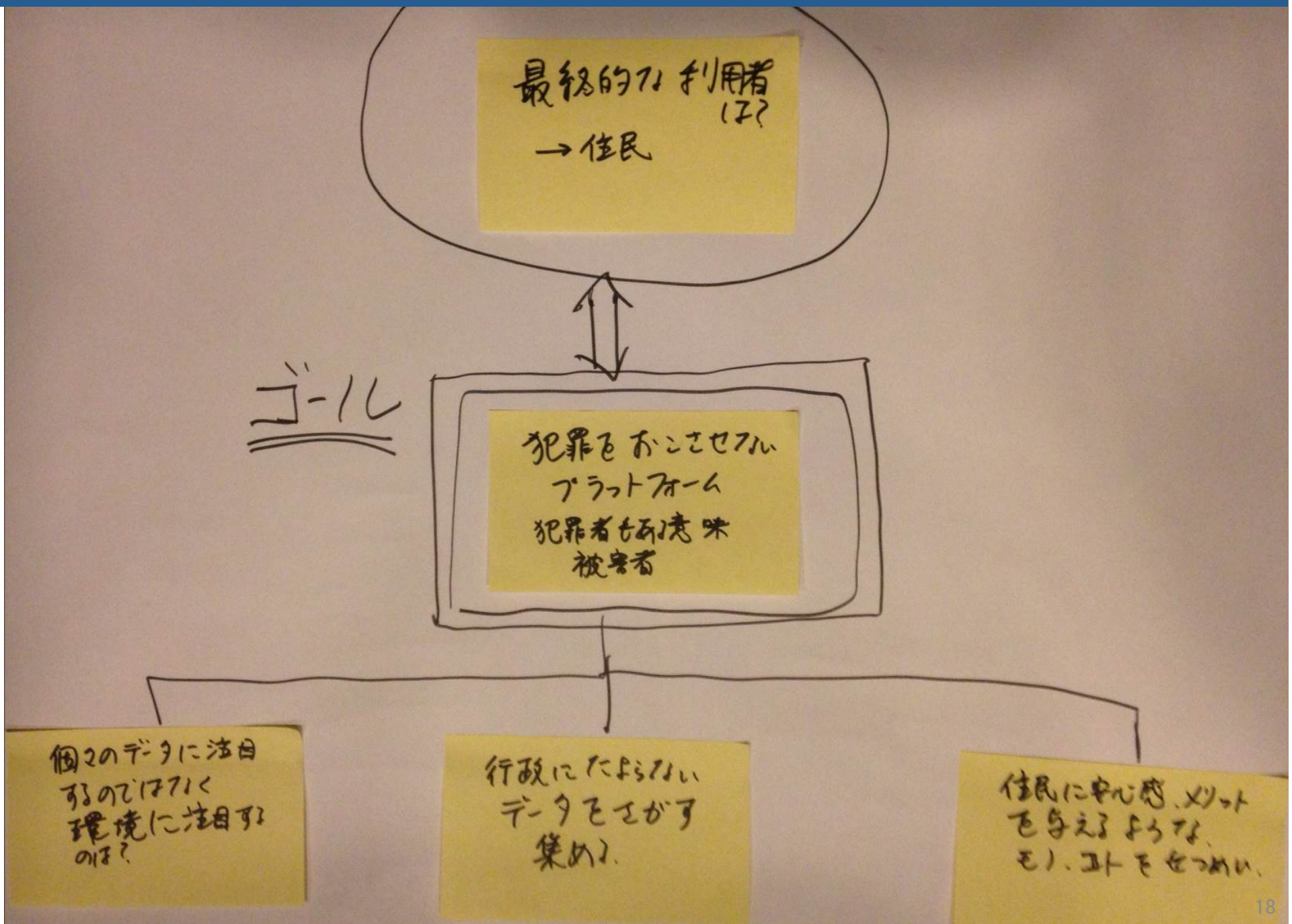
同じ道に誘導する  
GPSナビ

犯罪抑止に効果  
がある情報だけを出す

情報は開示して  
オープンデータ

犯罪意識の低い  
病気の人の  
プライバシーの問題

不審者って何?  
主観的定義  
防犯は主観的な面  
がある



A banner for the Urban Data Challenge Tokyo 2013. It features a grayscale cityscape of Tokyo with several large, semi-transparent arrows overlaid: a blue arrow pointing right at the top left, a yellow arrow pointing left at the top right, a yellow arrow pointing right at the bottom left, and a yellow arrow pointing left at the bottom right. The text 'Urban Data Challenge' and 'Tokyo 2013' is in the top left corner.

# Urban Data Challenge Tokyo 2013

## 3. 農業

みんなが求める農村とは？

～悩むムラ、課題解決に必要なマップ～

## 進め方

(農業グループ)

- ①抱える課題(頭に浮かんだもの)
- ②解決に必要なデータは?
- ③②と結びつくオープンデータは?
- ④マップ案

## 自由討議

### 1. 流通

市場と農家をつなぐ仕組み

課題と解決策

スーパーに持ち込み

牛肉や豚肉にICタグ

### 2. 共有農園、市民農園

市街地化

生産緑地(50年間農業を続けないと税金がかかる)

→農家からみればいかに作るのが大変か分かってほしい

→農家と市民の交流

### 3. 農地をどうやって利用したら良いか

耕作放棄・有休農地:埼玉県面積に匹敵

埼玉は稲と麦

耕作放棄地はなぜできるか→耕す人が減っている→日本産の野菜がどんどん減っている→輸入が増える

問題点: 農業のオープンデータが少ない!

農地基本台帳の公開の動きはあるが。。

## 課題の設定

人

- ・高齢化
- ・後継者不足、担い手

土地

- ・有休農地、放棄地
- ・有害鳥獣

生産

- ・売り先が見つけにくい

→「担い手」に絞って議論

## 課題解決のためのアイデア

課題: 興味ある人と求めている人(土地)とのマッチング

### データとして欲しいもの

- ・住宅情報(住所、間取り、築年数)
- ・リクルート情報(希望者の個人情報、やる気(経営意向))
- ・土地の性質(適した作物)、遊休農地、放棄地
- ・地域の高齢化率
- ・魅力(土地の特性)

→マップ化することで農業をする人が集めやすい

→ハードルを下げるライトな要素も欲しい

The banner features a grayscale cityscape of Tokyo with the Tokyo Skytree visible on the right. Overlaid on the image are several arrows: a large blue arrow pointing right at the top left, a yellow arrow pointing left at the top right, a yellow arrow pointing right at the bottom left, and a yellow arrow pointing left at the bottom right. A horizontal band of pink, semi-transparent rectangular shapes runs across the middle of the cityscape.

# Urban Data Challenge Tokyo 2013

## 4. 観光

富士山をテーマとしたOD活用アイデアで  
静岡を盛り上げたい



# 主な議論1

- 地元でも登ったことがない人が多い
- 文化に触れあえるよろこび
- 地元の人たちに共有
- おもてなしの構造は地元と来訪者
- 外国人はわからないと人に聞く
- 築地のおじさんは案内ができる

## 主な議論2

- 富士山は近くにいくと大きすぎて見えない
- どこあたりでよく見えるか？
- 富士スピードウェイでF1催事に不評 ナビゲート
- トイレの場所がわかると、渋滞中でも安心
- 残念な記憶を持たせたくない
- 富士山だけで人が来るのであれば、どこに人を流すかも重要
- コンテンツ不足

## 主な議論3

- 外国人は簡単に登れると思っている、情報不足
- 山に登ることが多いが、実は周辺に魅力がある
- 登山に注目されすぎ
- 知られていない情報も多数ある
- そもそも富士山そのものは世界遺産に登録された約30箇所の中のひとつ、他の20数箇所にも魅力がある
- 地元では天気予報の素材に富士山を利用している

## 主な議論4

- 2020東京オリンピックは外国人を成田から会場までいかにナビゲートするかが課題
- 富士山も同じこと
- バス乗り場？情報を出す必要があるのでは
- 英語等の案内
- ボランティアは近くに住んでいる外国人に  
お願いする

# アプリについて1

- Webカメラで富士山を見る
- 宿泊施設からライブカメラで眺める、富士山の見える部屋
- マーケティングにもつなげる
- 富士山の撮影ポイントに行くとそこで撮影したコンテンツが見える
- 「富士フォト」撮影した場所、ARで富士山のある方向を示してくれる
- 登山に関する情報もなし、頂上の気象情報など
- 仮想登山ゲーム
- 静岡県では安心安全情報提供
- Tシャツで登るヤツもいる

## アプリについて2

- 富士山はコンテンツ不足
- 富士山とITとの親和性はあるのか？
- ITの必要な場面は？
- 現地に来たら現物を楽しむべき
- 一見さんにとっては、天気が悪い時、ベストな状況が見たい
- バーチャル富士山と写真が撮れる
- 富士山で面白いことをやって動画投稿、ランキングをしてみる
- エクストリーム登山イベント

# アプリの整理

- 教育系
  - バーチャル登山
- イベント系
  - エクストリーム登山
  - 動画ランキング
- 案内系
  - 観光案内
  - 宿泊情報、空き室情報
  - 撮影スポット(富士フォト)
- 万能系
  - Webカメラ

# お助け情報アプリ

- せっかくの観光、渋滞や混雑していやな思いしたことありませんか？
- アイデア
  - 目的の場所付近の混雑、渋滞情報を事前に提供。
  - 近くの観光施設やグルメ情報、トイレの場所を提供、混雑を回避してよい思い出作りをサポート
- 必要なデータ
  - 渋滞情報
  - ソーシャル情報
    - データマイニングが必要





LOD Challenge2013



## 5. スポーツとオープンデータ

<http://idea.linkdata.org/idea/idea1s121i>

# グループ名：スポーツとオープンデータ

Idea LinkData アイデアを公開してつなげる  
オープンアイデアの共有サイト

ログイン Language

アイデアを新規作成 | Home | About | チュートリアル | 公開アイデア | マイページ

このアイデアをwebで検索 ツイート 3+1 0 Share



## アーバンデータ東京2013 <G空間EXPO 2013> 地域の課題を解決するためのアイデアを考えよう！のアイデアの種

更新: 2013年11月18日

CC-BY nobuotto 小林 茂 はとちゃん

5 value

★ いいね!

このアイデアにポスト

埋め込みコードを取得

<G空間EXPO 2013> 地域の課題を解決するためのアイデアを考えよう！～アーバンデータチャレンジ東京2013 × Linked Open Data Challenge Japan ～ <http://aigid.jp/GIS/udct/2013/event/gexpo.html> のアイデアソンのテーマです。

更新: 2013年11月15日 (nobuotto)

Lt@アーバンデータ20131116



アーバンデータチャレンジ東京2013 <G空間EXPO 2013> 地域の課題を解決するためのアイデアを考えよう！

テーマ: スポーツとオープンデータ

2013年11月16日 (土)  
LODチャレンジ実行委員会 乙守信行

出典: <http://www.slideshare.net/nobuotto/lt20131116>

更新: 2013年11月15日 (nobuotto)

アイデアソン参加者の皆さんです  
伊藤誠敏さん、 岡宏純さん、 丸山弘通さん、 熊谷聡さん、 小林茂さん、 羽鳥健太郎さん

更新: 2013年11月17日 (nobuotto)



参加者  
伊藤誠敏  
岡宏純  
丸山弘通  
熊谷聡  
小林茂  
羽鳥健太郎

アイデアソンでたアイデアです。

更新: 2013年11月17日 (nobuotto)



更新: 2013年11月17日 (nobuotto)

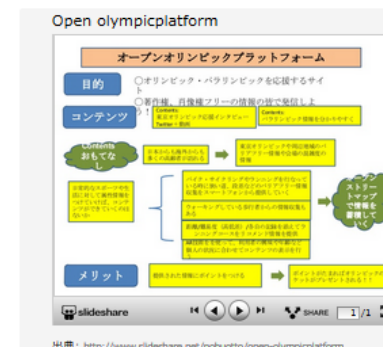
東京オリンピック、パラリンピックの課題や参加方法について多くのアイデアがアイデアソンで生まれました。ポイントをまとめてみます。

1. インターネット時代におけるオリンピック  
サイバー攻撃への対処方法が今後必要である。
2. オープンサイト構想  
オリンピック、パラリンピックの情報発信で大きな問題は、選手の肖像権や情報発信への権利問題があります。この問題を解決するために情報発信者がライセンスフリーでデータや情報を提供するオープンサイトを構築するというアイデアです。
3. 未来に向けて 開催ノウハウをパッケージ化して海外に販売  
1964年の第1回、今回と日本は2回のオリンピック・パラリンピックを開催します。よって多くの開催のノウハウが蓄積されます。と同時にオリンピック・パラリンピックの開催で産業振興が期待できますが、開催後には逆に不況になる懸念もあります。そこで、開催後のビジネスのひとつとして「開催ノウハウをパッケージ化して海外に販売」というアイデアが生まれました。

更新: 2013年11月17日 (nobuotto)

今回生まれたアイデアのなかでオープンプラットフォーム構想を「オープンオリンピックプラットフォーム」として簡単ですがまとめてみました。プラットフォームのコンテンツやサービスアイデアについては継続募集中です!!

更新: 2013年11月17日 (nobuotto)



更新: 2013年11月17日 (nobuotto)



LOD Challenge2013



## 6.メイド・イン「地元」

<http://idea.linkdata.org/idea/idea1s91i>

# グループ名：メイド・イン「地元」

**Idea LinkData** アイデアを公開してつなげる  
オープンアイデアの共有サイト

ログイン Language

アイデアを新規作成 | Home | About | チュートリアル | 公開アイデア | マイページ

このアイデアをwebで検索 | ツイート 1 | +1 0 | Share

## メイド・イン「地元」

更新: 2013年11月18日

5 value

★ いいね!

このアイデアにポスト

埋め込みコードを取得

CC-BY Kozaki\_Kouji 浅野優 高橋陽一 Yasunori Yamamoto  
Akihiro\_Ishimura

アプリ開発の作業用にFBグループを作りました。  
このアイデアの実現に向けた作業に加わりたい方は、メンバー登録をしますので、ご連絡下さい。

Facebook  
https://www.facebook.com/groups/759534054064059/  
Facebookは、友達や同僚、同級生、近所の人たちと交流を深めることのできるソーシャルユーティリティサイトです。Facebookを利用すれば、友達の近況をチェックしたり、写真をアップロードしたり(投稿は無制限)、リンクや動画を投稿したり、知り合いと連絡を取り合うことができます。

更新: 2013年11月18日 (Kozaki\_Kouji)

<G空間EXPO 2013> 地域の課題を解決するためのアイデアを考えよう!  
～アーバンデータチャレンジ東京2013× Linked Open Data Challenge Japan～  
2013/11/16@日本科学未来館 でのアイデアソンの成果です。

この成果をベースに、アプリケーションの開発を進める計画です!

### メイド・イン「地元」



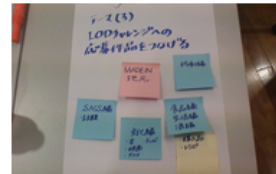
出典: http://www.slideshare.net/KoujiKozaki/20131116-28328828

更新: 2013年11月17日 (Kozaki\_Kouji)

あなたの日々の生活での行動を分析し、『あなたの〇〇%が「地元」から構成されています』という判定をするサービスです。

- 例えば、「食べた食事のメニューを入力すると」  
→各食事の材料をレシピLODから取得  
→各材料の産地を食品産地LODから取得  
→その結果、材料の何%が「地元」産なのかを計算します。

更新: 2013年9月14日 (Kozaki\_Kouji)



更新: 2013年9月14日 (高橋陽一)



更新: 2013年9月14日 (高橋陽一)



更新: 2013年9月14日 (高橋陽一)



更新: 2013年9月14日 (高橋陽一)

- 食品編 (食べた料理, 生活, お酒)  
移動編  
文化編 (本, テレビ, 映画, アニメ)  
SNS編 (話題にされた内容)

更新: 2013年9月14日 (Kozaki\_Kouji)

このアイデアを引用して新規作成



LOD Challenge2013



## 7.気象観測データ×健康管理アプリ で気象病のメカニズムを探る

<http://idea.linkdata.org/idea/idea1s123i>

**IdeaLinkData** アイデアを公開してつなげる  
オープンアイデアの共有サイト

ログイン Language

アイデアを新規作成 | Home | About | チュートリアル | 公開アイデア | マイページ

このアイデアをwebで検索

3 value

★ いいね!

このアイデアにポスト

埋め込みコードを取得

**気象と自分の健康の関係をスマホで調べるサービス**

2013年11月16日 (土) にお台場日本科学未来館で開催された「<G空間EXPO 2013> 地域の課題を解決するためのアイデアを考えよう! ~アーバンデータチャレンジ東京 2013 x Linked Open Data Challenge Japan ~」にてグループで具体化を進めたアイデアです。 <http://aigid.jp/GIS/udct/2013/event/gexpo.html>

更新: 2013年11月17日

CC-BY Sayoko Shimoyama Yusuke MASUDA

**【目的】**

自分が実際に気象の変化に影響を受けるのか知りたい!

更新: 2013年11月16日 (Sayoko Shimoyama)

**【必要なデータと方法】**

①気象データ  
②健康データ

これらを

- ・緯度経度情報
- ・時間

でひも付けて相関を解析する

更新: 2013年11月16日 (Sayoko Shimoyama)

テキスト 詳細

**①気象データ**

細かいメッシュのデータが望ましい。例えば気圧は気象条件によって急激に変化することがある。  
最近ではスマホで気圧の測定ができる機種も  
iPhoneに装着できる気象観測端末も発売されている  
→定点観測よりも、自分の今いる位置で測定した方がより精度の高い結果が得られる

②健康データ

相関を解析するためには構造化されたデータが必要  
どうすれば主観的なデータを客観的なデータに近づけられるか？

医者ですすめられる頭痛日誌を参考に  
頭痛の程度を3段階で記録  
日常生活への支障度も3段階で記録

健康だけでなく気分のデータも取れると良い  
質問に答えて記録

持続的に記録してもらうためには？  
ゲーム的な要素を取り入れる

更新: 2013年11月16日 (Savoko Shimoyama) [テキスト](#) [詳細](#)

【具体的なサービス】

(第一段階)  
モデル化：  
自分は気象条件に影響を受けるのか？  
自分がどの気象条件に影響を受けるか？  
その程度は？

一般化するのは難しいのでまずは個人に対してモデル化

(第二段階)  
フィードバック：  
体調の変化予測  
注意報  
〇〇指数として分かりやすく提供

更新: 2013年11月16日 (Sayoko Shimoyama)

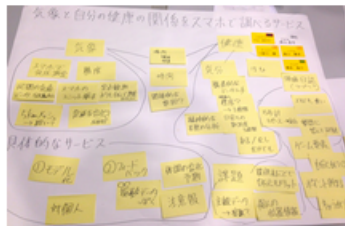
## グループ名： 気象観測データ×健康管理アプリで気象病のメカニズムを探る

### 【課題】

個人の位置情報提供が最近問題になっている  
→今回のアプリは自分の健康について知るためのもの。気象病のメカニズムが分かれば個人に対してもメリットがある。という点を理解してもらうことで解決できる？

更新: 2013年11月16日 (Sayoko Shimoyama)

グループでのディスカッションは付箋紙に書き留めながら行いました。



更新: 2013年11月17日 (Sayoko Shimoyama)

このアイデアから発展させました。



### 気象観測データ×健康管理アプリで気象病のメカニズムを探る

Sayoko Shimoyama

作成: 2013年7月30日, 更新: 2013年11月16日

8  
評価指数

更新: 2013年11月16日 (Sayoko Shimoyama)

関連しそうなアプリです。

- ・頭痛へる 気圧予報&簡単!!頭痛ダイアリー~雨の日の喘息にも  
<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.pocke.android.zutsu>
- ・頭痛ダイアリー  
<https://itunes.apple.com/jp/app/tou-tongdaiari/id573478194?mt=8>

更新: 2013年11月16日 (Yusuke MASUDA)

このアイデアを引用して新規作成





LOD Challenge2013



## 7.統計データから見る地域別健康環境 ～予防医療につなげるための可視化～

<http://idea.linkdata.org/idea/idea1s124i>



**Idea LinkData** アイデアを公開してつなげる  
オープンアイデアの共有サイト

ログイン Language

アイデアを新規作成 | Home | About | チュートリアル | 公開アイデア | マイページ

このアイデアをwebで検索

### 統計データ等から分析する地域別健康環境～健康寿命に関する地域差要因について、小地域を対象に分析するために～

2013年8月10日に開催された第二回LODチャレンジで作成されたアイデア (<http://idea.linkdata.org/idea/idea1539i>) をベースに、健康寿命の地域差を生み出す要因を分析するための仮説を再列挙し、その要因を相関分析するための候補データ (具体データ名など) の列挙を行ったもの。

更新: 2013年11月16日

CC-BY 高橋陽一

3 value

いいね!

このアイデアにポスト

埋め込みコードを取得

#### 2013年11月16日 アーバンデータ×LODチャレンジ共催イベント

グループ8：ディスカッション終了時のスナップショット

メンバー：鴨川 威、鈴木 茂雄、大森 梓乃、鈴木 英之、高橋陽一



更新: 2013年11月16日 (高橋陽一)

現状の健康寿命の算定は都道府県単位で行われているが、より実態に即した地域差の抽出を行うには小地域単位での比較が必要 (都道府県レベルでは、都市部/山間部/島嶼部などの相違が平均化されてしまう)。

厚生労働科学研究 健康寿命のページ  
<http://toukei.umin.jp/kenkoujyumyou/>

「健康寿命のページ」は、下記の研究会などによる研究成果を公開するための頁です。平成23～24年度厚生労働科学研究 (慢性器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業) 健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究 (研究代表者 藤田保健衛生大学医学部衛生学講座教授 橋本修二) お知らせ 健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究 平成24年度報告書を掲載しました。健康寿命の算定方法の指針 (平成24年9月) 健康寿命の算定方法の指針 (説明書) (pdfファイル、5 MB) 健康寿命の算定プログラム (エクセルファイル、0.3 MB) 健康寿命の算定方法 Q & A (pdfファイル、0.3 MB、平成24年10月) 健康寿命 (日常生活に制限のない期間の平均) の算定方法 (平成24年5月) 健康寿命の算定方法 (説明書) (pdfファイル、0.2 MB) 健康寿命の....

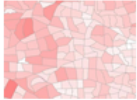
更新: 2013年11月16日 (高橋陽一)

# グループ名： 統計データから見る地域別健康環境 ～予防医療につなげるための可視化～

▼ 多く見られるテーマを表示しています

### 想定要因1：運動環境（モビリティ）

健康寿命が長いのは、通常の移動が徒歩＋公共交通が多い地域なのか、自家用車が多い地域なのかなどは、パーソントリップ調査の調査範囲が広がれば分析できるのでは。



国土数値情報 交通流動量 / パーソントリップ発生・集中量データの詳細  
<http://nftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-S05-a.htm>

TOP ガイドライン インターネットサービス 国土の総姿 GISに関する取組 リンク集 トップページ > インターネットサービス > 国土数値情報ダウンロードサービス > JPGIS2.1(GML)準拠及びSHAPE形式データのダウンロード > データの詳細 データのダウンロード (2名データ詳細) 選択したデータ項目は 国土数値情報 交通流動量 / パーソントリップ発生・集中量データ です。最新のデータは数値仕様書第2.1版に基づいています。

(データ作成年度:平成22年度、平成24年度) 交通流動量 / パーソントリップ発生・集中量 第2.1版 番号予 S05-a 内容 三大都市圏パーソントリップ調査 (東京都市圏、近畿圏、中京都市圏) についてのゾーン毎の目的別・機関別発生・集中量 関連する法律 - データ作成年度 平成22年度 (東京都市圏:平成20年調査、近畿圏:平成12年調査...)

更新: 2013年11月16日 (高橋陽一)

### 想定要素2：ストレス要因

ストレスを生じさせる要素として考えられる職種や世帯構成と健康寿命との相関を分析するための基礎データとして、就業構造基本調査や

提供統計一覧 政府統計の総合窓口 GL02100104  
<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL02100104.do?tocd=00200532>

このページの本文へ移動 ホーム お問い合わせ ヘルプ English 文字拡大・読み上げ トップページ 統計データを採る 主要な統計から採る 提供統計一覧 提供統計一覧 ご覧になりたい提供統計名をクリックして下さい。提供統計名 平成24年就業構造基本調査 平成19年就業構造基本調査 平成14年就業構造基本調査 平成9年就業構造基本調査 平成4年就業構造基本調査 昭和62年就業構造基本調査 GL02100104 このページのトップへ このサイトについて ご利用にあたって 個人情報取り扱いの取扱い サイトマップ 当サイトは各府省等の参画のもと、総務省統計局が中心となり開発を行い、独立行政法人統計センターが運用管理を行っております。 Copyright(C) 2011 総務省 統計局 All rights reserved.

更新: 2013年11月16日 (高橋陽一)

### 国勢調査の世帯構成が利用できるのではないかな


提供統計一覧 政府統計の総合窓口 GL02100104  
<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL02100104.do?tocd=00200521>

このページの本文へ移動 ホーム お問い合わせ ヘルプ English 文字拡大・読み上げ トップページ 統計データを採る 主要な統計から採る 提供統計一覧 提供統計一覧 ご覧になりたい提供統計名をクリックして下さい。提供統計名 時系列データ 都道府県・市区町村別統計表 (国勢調査) 平成22年国勢調査 平成17年国勢調査 平成12年国勢調査 平成7年国勢調査 平成2年国勢調査 昭和60年国勢調査 昭和55年国勢調査 昭和50年国勢調査 昭和45年国勢調査 昭和40年国勢調査 昭和35年国勢調査 昭和30年国勢調査 昭和25年国勢調査 昭和22年臨時国勢調査 昭和15年国勢調査 昭和10年国勢調査 昭和5年国勢調査 大正14年国勢調査 大正9年国勢調査 平成7年国勢調査 新分類区分による過去集計 GL02100104 このページのトップへ このサイトについて ご利用にあたって 個人情報の取り...

更新: 2013年11月16日 (高橋陽一)

### 想定要因3：コミュニティ状態

地域別の老人クラブ数やNPO数 (<https://www.npo-homepage.go.jp/portalsite.html>) などを基礎データとして、地域コミュニティの活性化状態と健康寿命の相関を分析できないかな



都道府県・指定都市老連別老人クラブ数・会員数/全国老人クラブ連合会  
<http://www.zenrouren.com/siryou/member23.html>

全国老人クラブ連合会は、「人とつながる、未来がひろがる」をテーマに、高齢者としての自覚と誇りをもって、世代を超えて連携し、心豊かな社会をめざします。

更新: 2013年11月16日 (高橋陽一)

### あるいは、各自自治体が公開している公共施設白書の施設種別、利用状況からコミュニティ状態を推定できないかな

世田谷区公共施設白書 - 世田谷区  
<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/107/157/722/728/1840/d00128569.html>

区では、新たな基本構想・基本計画の策定に併せ、平成26年度から10年間を見通した新たな公共施設整備方針の基礎データとするため、施設の配置や利用、老朽化の状況、将来の改築や改修に要する経費など、様々な観点から公共施設の現状を整理した「世田谷区公共施設白書2013」を作成しました。

更新: 2013年11月16日 (高橋陽一)

よく見るページ Firefox を使いこなそう

作成しました。 更新: 2013年11月16日 (高橋陽一)

**想定要因 4：地域定着性**  
住宅・土地統計調査から取得できる各地域の「住宅の居住形態」から世帯の定着性を、各地域内の学校設立年度から各地域の存在期間（新興地域/歴史的な地域）を類推することで地域の定着性を類推し、健康寿命との相関を分析できるのでは

提供統計一覧 政府統計の総合窓口 GL02100104  
<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL02100104.do?tocd=00200522>

このページの本文へ移動 ホーム お問い合わせ ヘルプ English 文字拡大・読み上げ トップページ 統計データを探す 主要な統計から探す 提供統計一覧 提供統計一覧 ご覧になりたい提供統計名をクリックして下さい。 提供統計名 平成20年住宅・土地統計調査 平成15年住宅・土地統計調査 平成10年住宅・土地統計調査 平成5年住宅統計調査 平成5年土地基本調査世帯調査 昭和63年住宅統計調査 GL02100104 このページのトップへ このサイトについて ご利用にあたって 個人情報の取り扱い サイトマップ 当サイトは各府省等の参画のもと、総務省統計局が中心となり開発を行い、独立行政法人統計センターが運用管理を行っております。 Copyright(C) 2011 総務省 統計局 All rights reserved.

更新: 2013年11月16日 (高橋陽一)

**想定要因 5：地域別基礎的体力**  
地域別の基礎的体力と健康寿命の相関を分析するためには文科省の体力テストデータが使用できればよいのだが、現状は少地域別のデータが公開されていない


最新結果一覧 政府統計の総合窓口 GL08020101  
<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/NewList.do?tid=000001016672>

このページの本文へ移動 体力・運動能力調査 平成24年度 2013年10月15日 公表 平成23年度 2012年10月9日 公表 平成22年度 2011年10月11日 公表 平成21年度 2010年10月11日 公表 平成20年度 2009年10月11日 公表 平成19年度 2008年10月12日 公表 平成18年度 2007年10月9日 公表 平成17年度 2006年10月12日 公表 平成16年度 2005年10月12日 公表 平成15年度 2004年10月12日 公表 平成14年度 2003年10月10日 公表 平成13年度 2002年10月11日 公表 平成12年度 2001年10月5日 公表 平成11年度 2000年10月5日 公表 GL08020101 このページのトップへ Copyright(C) 2011 総務省 統計局 All rights reserved.

更新: 2013年11月16日 (高橋陽一)


Webページ 詳細


**想定要因 6：食生活要因**  
国民健康・栄養調査のように「朝、昼、夕別にみた1日の食事構成比や栄養素等摂取量」などが地域別に公開されている統計データがあれば、地域別の食生活と健康寿命の相関が分析できるのではないかと

 国民健康・栄養調査 | 厚生労働省  
[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kenkou\\_eiyou\\_chousa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kenkou_eiyou_chousa.html)  
国民健康・栄養調査について紹介しています。

更新: 2013年11月16日 (高橋陽一)

本アイデアは、2013年8月10日に開催された第二回LODチャレンジデーで作成されたアイデア（<http://idea.linkdata.org/idea/idea1s39i>）を再検討/振り下げを行ったものである。

 **統計データから見る地域別健康環境 ～予防医療につなげるための可視化～** **10**  
評価指数

 takao.suzuki  
作成:2013年8月10日, 更新:2013年11月15日

更新: 2013年11月16日 (高橋陽一)

このアイデアを引用して新規作成

2013 idea.linkdata Home | 利用規約